

林業の角度からも 生薬栽培に参画できないか



丸山あつ子 議員

質問 現在、分収造林地での植栽は杉、松、ナラ等である。
町で計画の生薬栽培は農業部分の薬草が主だが、林業の角度からも参画できるような用材としても活用できる樹種の植栽を奨励することにより林家の人たちも山仕事に意欲が増すのではないか。

答弁(町長) 留山や二ツ森登山入口等で薬用植物の専門家らが植物観察をしたところ、本町は樹木も含めて薬用植物の宝庫である伺い、今後の植栽には生薬の原料と用材に活用出来る樹種も対象に、林業の活性化につなげたい。



薬や用材として使えるのならばすぐにでも植栽を奨励して欲しい(写真はキハダ)

再質問 生薬に適した樹木は決まっているのか。また、何年位で生薬として使えるのか。
答弁(町長) 八峰町に適合していると思われる樹木は、キハダ、ホオノキ、クヌギの3種類を予定している。また、皮は生薬で、他は材に使い、成木まで大体15年から20年位かかる。

いじめ、不登校 の現状は

質問 当町にいじめや不登校があるのか。また、これらの対策を行っているのか。
答弁(教育長) 「月例報告」によると、いじめについては現在ゼロ件で

再質問 杉の80、100年伐期の半分位の林齢で収入栽培が出来るとなれば一般林家にも奨励して、山林地の多い当町の林業振興を図っていくべきでは。
答弁(町長) 薬や用材と両方の効果があるので一般の方々にも普及出来るように色々な面からアドバイスを受けながら、まずは町で来年度から植え付けを考えている。
質問 今、様々に報道された大津のいじめ・自殺をどう思うか。なぜいじめはなくなるらないのか。個人的な考えは。
答弁(教育長) 警察や文部科学省の調査など、今までにない大きな動きと感している。これを機会に是非強化し、すべての学校で行きとどいた、いじめのない指導を定着出来たらと思っている。2点目については、まず情報を得る、早期発見と早期解消に尽きると思う。

当町の観光振興 についての考えは



柴田 正高 議員

質問 ①森林基幹「米代線」は、八峰町と白神山地の南玄関口を結ぶ重要な観光路線となる。藤里口から白神山地を訪れる人をいかに町に呼び入れるかの策は。
また、観光案内板の設置や新たなパンフレットの作成も必要と思うがその計画はあるのか。
②白神山地が世界遺産に登録され、来年20年の節目となる。また、来年の10月からは自治体とJR6社、旅行エージェンと協賛企業等が共同して取り組む観光キャンペーン「秋田DC(テストイネ

ーションキャンペーン)」が始まる。この開催に合わせ式典やイベントの開催等を行うべきと思うが。③「秋田DC」の計画では観光客は当町を通過するだけとなっているが、多額の費用負担をする意味がないのでは。計画の変更を要請したのか。
また、町独自の滞在プログラムや観光協会の連携による取り組みも必要ではないか。
答弁(町長) ①米代線の利便性を旅行エージェン等売り込みたい。「あきた白神広域観光推進会議」や「環白神エコツーリズム推進協議会」では、より広域的な観光連携について検討しており、活用についても協議したい。
また、案内板等の新設は現在考えていないが内容を追記する方法でPRしたい。
②個々の市町村で式典を

新しく建設する 子ども園の 場所を変更する 考えはないか

質問 建造物は耐用年

数のある間はその目的を果たすような使い方に努めるべきだ。建造物の耐用年数は30年以上あるのに、30年後の年少人口(15歳未満)は200人台と推測され、町内の子ども園も小中学校も1園1校となっているのでは。今計画されている子ども園の耐用年数を迎える前にその目的を失うことになるのではないか。
30年先を見据え、将来、1園となっても対応できる場所に建設すべきと思う。
答弁(町長) 各種推計で人口減少や少子化が進む予想であることは否定しない。現施設の老朽化への対応が急がれることや時代に合わせた望ましい保育環境を整えることなど、早期に保護者や地域住民の要請に応じていくよう計画通り進めた